



全国自治体労働者通信

*ピラを読んだ感想や職場に関する情報をお寄せください。

自治労第84回定期全国大会(函館)に参加された皆さん!

民営化・外注化＝公務員全員解雇に絶対反対!

9・16橋下打倒に総決起し、全職場で反乱を



7月29日、国会・首相官邸前に再びみたび20万人のデモが押し寄せ、さらに毎週金曜夜の万余の行動が続いている

再稼働反対! 野田倒せ!

デモとストライキで新自由主義ぶっ飛ばせ



全駐労沖縄地本は7月13日、再雇用労働者へのパート制度導入の撤回を求め第1波ストライキに決起。オスプレイ配備反対9・9県民大会参加を組織決定し第2波スト／動労千葉は8月28日、JR東日本の検査修繕・構内業務の全面外注化にむけた強制出向取り消しを求めてストを貫徹。動労総連合の組合員60人が強制出向差止め集団訴訟に決起。10・1外注化阻止の大決戦が始まった

新自由主義への怒り叩きつけ、全労働者の力で10・1JR外注化阻止、反原発の決戦勝利へ

野田政権支える連合・自治労本部倒し、闘う労働組合運動の再生を

自治労第84回定期全国大会に参加のみなさん!

闘う労働組合を再生し、開始された階級決戦とともに総決起されることを訴えます。

新自由主義との決戦だ

原発再稼働をどうして許せるか。大阪・橋下型の民営化＝公務員全員解雇の大攻撃に対し、もはや闘

いぬきには生きていけない。

大恐慌はさらに深まり、資本主義の生命力は尽きました。労働者の団結の力を信じ、怒りを爆発させて立ち向かえば、ウンとペテン、恫喝と御用組合の協力によって成り立ってきた新自由主義を打ち破ることができる。わずか「1%」の巨大資本家による支配から社会を奪い返し、私たち労働者が自分

たちの未来を自分たちで決める。そうした時代が始まっています。

外注化阻止・橋下打倒へ

7月16日には、労働組合を中心に代々木公園を埋める17万人が反原発闘争に決起し、毎週金曜夜にはのべ数十万人に達する人々が「再稼働反対! 野田倒せ!」と叫んで、官邸と国会前に押し寄

せています。

原発再稼働への怒り、とめどない大暴首切りや賃下げ、外注化・非正規職化、年間で20数万円(月収1カ月分超)に上る大増税への怒り。新自由主義が行き着いた大恐慌のもとで、さらにエスカレートする国と資本の攻撃の犠牲とされ、失業と貧困の淵に立たされた労働者の怒りが、階級決戦として火を噴いているのです。

JRの全面外注化・労働組合根絶のための検査修繕・構内業務の10・1外注化阻止! 外注会社への強制出向を拒否し偽装請負をはばむ闘いは、国鉄分割・民営化以来の新自由主義を真正面から打ち破る全労働者の未来のかけた決戦となりました。

動労千葉・動労総連合のストライキ決起と結合し、大阪市役所前・中之島公園で開催される9・16橋下打倒集会に全国から結集を。全職場で民営化・外注化阻止、非正規撤廃の大闘争を巻き起こそう。

経団連と連合・自治労本部はどっちが違ひのか?

資本家のためだけに存在する野田民主党政権への怒りが爆発し、経団連とともに政権を支え新自由主義をおし進めてきた御用組合・

連合の労働者支配が音を立てて崩れています。これ自体が歴史的な事態です。

2000年以降「第2の分割・民営化」攻撃として進められてきたJR施設部門(保線・電力・信号通信・土木)などの外注化は、JR総連の協力や国労本部の屈服抜きにありえなかった。電力総連こそが福島第一原発事故にまで行き着いたデタラメな原発政策を支え、下請け・非正規雇用労働者の原被ばく労働の強制をもたらしてきたのです。

そして自治労本部は、2010年の徳島大会で、「ギリシャ危機を他山の石」とする「持続可能な日本社会のグランドデザイン構想」を掲げました。その至上命題は「財政再建」。大恐慌に見舞われた巨大金融独占資本救済のために湯水のように使われることで一挙に1千兆円を超えた財政赤字の解消を、労働組合の最優先課題としました。ギリシャの公務員労組のように労働者が生き抜くためのゼネスト方針を打ち出すところか、資本家と一体となって労働者に犠牲を押しつける側に回ったのです。

自治労本部は、すでに09年熊本大会を前に当時の江崎孝労働局長「現民主党参院議員が公務員人

9・16橋下打倒闘争に結集してください!

橋下打倒を闘う大阪の地から、熱烈なアピールを送りたいと思います。

全国の自治体職場で橋下に対する怒りがわきあがろうとしています。全国保育集会では首切りと闘わない本部への怒りがいよいよ奔流となり、旭川現評総会では橋下打倒署名に行列ができました。

8月1日に成立した「大阪市職員政治活動規制条例」は、労働組合つぶしそのものです。それは、この怒りを絶対に団結に変えてはならないという橋下の恐怖を表しています。この条例に対して大阪市労連本部が闘いの方針を出さない中、職場では「橋下打倒」のピラ1枚が大問題にされるような状況が生まれています。しかし私たちは知っています。絶対反対で闘えば、橋下には負けません。現場から「アンケート拒否」の声が上がり、1000名の集会を勝ち取ったことで団結破壊のアンケートをつぶしました。

また、大阪府八尾市の「八尾北医療センター」はこの間市当局の立ち退き裁判を退け、民営化阻止に向けた大勝利を勝ち取っています。

それでも橋下はここであきらめることはありません。自民党も民主党も壊滅状態にある中、彼がどれだけ薄っぺらな人格であろうと、彼は資本家階級の全てを背負って登場しているのです。野田政権が国家戦略会議で打ち出した「40才定年制」「10割非正規化」を、やるしかない決断しているのです。

政治活動規制条例の成立に伴って橋下が「民間企業で、従業員が会社の信用を傷つけ、業務に支障を生じさせるような宣伝をするなど聞いたことがありません。このようなことが許されるのでしょうか」と言っています。労働組合が会社の悪を暴くことも、ストライキで闘うことも禁止するという、官民全ての労働組合をつぶすという宣言ではないですか。こんなことがまかり通る社会など、絶対に認められない。

私たちが9・16橋下打倒集会を呼びかけるのは、ここで絶対に勝ちに行きたいからです。

国鉄1047名解雇撤回闘争は(国労本部など)4者4団体の裏切りというギリギリのところから、今年6月の国鉄闘争全国運動の集会では「国鉄闘争の火をさらに大きく」と宣言するところまで大前進しました。そしてJR職場では外注化を阻止し、被曝労働を拒否する青年の決起が始まり、あらゆる産別に飛び火しています。自治体労働運動をつぶそうと狙う橋下のまわりを、すでに労働組合の闘いが包囲しつつあります。

資本家階級と労働者階級の力関係が完全に転換しつつあるのです。国鉄労働運動つぶして登場した新自由主義、青年の

大半を非正規にたたきこみ、世界中で大虐殺をやり、原発を爆発させて何の責任もとらないこの新自由主義に、いよいよ終止符を打つ闘いがはじまろうとしています。

JR東日本は10月1日付での検査・修繕部門の全面外注化を狙っています。これに対し国鉄1047名解雇撤回をたたかう労働千葉がストライキで立ち向かっています。9・16橋下打倒集会和10・1外注化阻止決戦を一体で闘うならば、労働者は絶対に勝てます。

だからこそ9・16集会は反橋下の一般的な政治集会ではありません。新自由主義と闘う労働運動をよみがえらせる、労働者階級の決戦です。何より大阪市において闘う労働組合をよみがえらせ、新自由主義にとどめをさす決戦です。

職場では「条例で決まったから従うしかない」「今はおとなしくしておけ」という声もあります。しかし黙っていたら殺されます!「条例がなんだ!」と言いたい。今や議員の決めたシステム全てが崩壊しているじゃないですか。

法が労働者を殺すとき、労働組合はストライキで法さえも打ち破ってきました。会社が何と言おうと、最後には団結した労働者が勝つのです。この力を橋下と、全ての労働者の前に登場させるのが9・16集会です。

東京では20万余のデモが毎週のように闘われ、真に勝てる方針を求めています。労働組合がこの中軸に登場したら、世の中はひっくり返ります。9・16橋下打倒闘争—10・1外注化阻止を勝ち抜き、闘う労働組合をよみがえらせてこの腐りきった社会に革命を起こそう!

8月28日、追いつめられた橋下は、入れ墨調査を拒否して闘う6人の労働者に対して「職務命令違反」を口実に不当極まりない戒告処分攻撃をかけてきました。絶対許せない。粉砕あるのみ!現場の怒りはいよいよ燃え上がっています。

入れ墨調査不当処分粉砕! 9月16日(日)午後2時、大阪中之島公園への結集をよろしくお願いします。



橋下に負けるな!自治労青年部総会(写真)、女性部総会でも多くの参加者が橋下打倒の賛同署名に応じ、闘いのメッセージを寄せた(8/18)

た橋下型の暴力的攻撃に対して、単組・分会としての強力な反撃も始まりました。全国の労働者が敵を明確にさせ怒りをもって共同の闘いに総決起していく。闘う労働運動再生の闘いです。

橋下打倒は10・1JR外注化阻止決戦と一体となった戦略的闘いです。橋下は未曾有の政治危機の中で「維新の会」を国政政党として立ち上げ、改憲と道州制

TPPを共同綱領に安倍晋三を始めとする極右政治家と結びつこうとしています。まさに今、福島の怒り、「復興特区」攻撃との闘いと一つになってJR外注化阻止決戦を闘い、野田・橋下打倒に総決起することが、新自由主義粉砕の歴史的な突破口を開くこととなります。

職場での闘いはまったなし。被災地はじめ全国の職場で、さまざまな過重労働が強制され、労災の多発、窓口労働者の1割に達する「うつ」発症と病休者の激増、それと表裏をなす組合活動の破壊が進行しています。職場の窮状をも逆手にとり、外注化と非正規職導入が急速に進められているのです。

当局による経費削減を振りかざした大攻撃に対し、民営化・外注化・非正規職導入をのんだ「正規職並みの待遇改善」などありえない。連合・自治労本部の唱える「公契約条例」とは民営化・外注化を前提とし、非正規職を固定化し拡大するものでしかなくなっていない。労働千葉が12年間にわたって闘い抜き勝利してきた民営化・外注化絶対反対、偽装請負弾劾・非正規職撤廃の闘いこそが、正規・非正規の分断をのりこえ、労働組合の再生と勝利をもたらす道です。7月31日閣議決定の日本再生戦略では復興特区を「先

件費2割削減案を提示し、批判が巻き起こりました。にもかかわらず、首切り・賃下げの公務員制度改革、消費増税と社会保障削減の一体改革、「新しい公共」「民営化、短期・短時間公務員の本格導入等を提唱し、民主党政権を進める新自由主義政策の先導役を務めてきました。そして今次函館大会議案でも「税や社会保険料などの国民負担率の上昇は避けられない」と、3党合意のもとで強行された消費増税賛成の立場を表明。

「子ども・子育て新システム」の旗を振って保育事業への市場原理導入、規制緩和と資本参入に道を開き、公立保育所の民営化と非正規職化に行き着く認定こども園を推進。がれき広域処理推進まで打ち出して被曝労働を強制しようとしているのが自治労本部です。4百万円を超える公務員退職金カットの大攻撃に絶対反対で闘おうとすまに「新自由主義労働運動」そのもの。絶対に許されません。

しかし今や、新自由主義は受忍の限度を超えました。矛盾は噴出し、どんな幻想もあきらめも消え去ったのです。動労千葉は、JR資本による全面外注化・組織破壊攻撃を粉砕し40数名に及ぶ組織拡大をかちとってきた12年間の勝利の上に6月29日、「1987年の国鉄分割・民営化に際し、動労千葉組合員12名がJRの採用候補者名簿から削除されたのは「不法行為」とする画期的な東京地裁判決をかちとりました。不

当解雇撤回・原職復帰へ、1047名解雇撤回闘争の新たな進撃が始まっています。そして全国の自治体職場でもいたるところで闘いが巻き起こっています。今こそ、現場の怒りで連合・自治労本部を打倒し、階級的労働運動を復権しよう。

9・16に全国総結集を

て絶対反対で闘う強固な反撃が開始されています。橋下の攻撃と真っ向から闘いぬく大阪の当該労働者による9・16橋下打倒集会の呼びかけは、全労働者の圧倒的支持と共感を集めています。自治労現評総会(旭川)、保育集会(高知)、青年部総会、女性部総会(東京)、自治労連大会(愛媛)で、全国の職場で賛同署名が猛然と集まっています。労働組合としての参加決定が拡大しています。全国で始ま

職場の団結を固め、絶対反対で闘おう

だからこそ、10・1JR外注化阻止決戦と一体となった被災地・復興特区との闘い、大阪・橋下打倒の闘い、そして全国の自治体職場における絶対反対の闘いが決定的なのです。全国の職場・分会で闘い抜き、自治体労働運動の再生へ! 10・1JR外注化阻止決戦と反原発百万人決起の爆発から、階級的労働運動の復権へ! 11・4全国労働者総決起集会(日比谷野音)の万余の結集をかちとろう。

民営化=全員解雇 絶対反対!
非正規職撤廃!
労働組合つぶし許さな!

9・16橋下打倒集会

9月16日(日) 午後2時開会
 大阪中之島公園・女神像前
 (9:00~10:00) 受付・入場 (12:00~13:00)
 主催: 9・16集会実行委員会
 連絡先: 1157-0201 大阪現評総会 TEL: 11-10-207
 TEL: 06-7620-7292 FAX: 06-7620-7292